

No.	ご意見提出者	ご意見（原文）	事務局の今後の対応
1	パートナー市民	総会資料の提供ありがとうございます。早速拝見しました。本市や関係自治体、アライアンスをはじめとした関係事業者の方々による最新情報で、大変充実した内容でした。地域産の再エネが地域で使える仕組がますます充実してきていることがよくわかりました。自分もネットワークの一員として、ゼロカーボンに取り組んでいきたいと思いました。 全国に先駆けた取組、これからも楽しみにしております。事務局の皆様には、お忙しい日々が続くと思いますが、どうぞご自愛ください。	この度は、貴重なご意見をいただき、厚く御礼申し上げます。 当ネットワークでは、ゼロカーボンシティ会津若松の実現に向け、市内の関係者が相互に連携し、意見交換や情報共有を通じて理解促進を図り、全市一丸となって脱炭素への取り組みを進めていることから、このようなご意見をいただけることは、大変ありがたく存じます。 今後も、皆様と共に知見を共有しながら、地域全体で脱炭素化を推進してまいりたいと考えており、特に、脱炭素に向けた各参加団体・個人の取り組み事例をさらに発信し、広く情報共有できる機会を設けたいと存じます。具体的には、総会資料にも記載があるとおり「あいべあ」を活用した相互情報共有を促進するべく進めております。ネットワーク内で、会員の皆様が優れた取り組みを互いに紹介し合い、刺激を受けられる場として今後整えていきたいと考えております。 また、再生可能エネルギーの地産地消につきましては、市役所のみならず、市民お一人おひとりにも市内産の再生可能エネルギーをご利用いただけるよう、会津エネルギーアライアンスと連携して取り組んでまいります。 是非、ゼロカーボンに取り組んでいただき、ご機会があればネットワークにおける事例発信や「環境大賞」へのご応募もご検討いただければ幸いに存じます。優れた事例を広く発信することで、より多くの市民に環境活動への関心を高めていただくきっかけにもなると期待しております。 今後ともゼロカーボンシティ会津若松の実現に向け、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
2	サポート団体	ゼロカーボンシティ観点から少し論点が反れるかもしれませんが、課題というかお願いがあります。 今冬の降雪後の若松市内の除雪対応は非常に大きな問題と感じています。周知の如く、除雪不足による道路状況起因の連日の大渋滞や事故が発生しております。交通渋滞はすなわち、燃料燃焼によるCO2排出増加にもつながるため、環境問題としての対応はもちろんのこと、都市問題としても、この課題への対処検討をお願いしたいと思います。 もしかすると多方面から同様のお願いが来ているかもしれませんが、ご検討のほど、お願い申し上げます。	この度は、貴重なご意見をいただき、厚く御礼申し上げます。 今般の大雪による渋滞や事故が多く発生しており、市民や事業者の皆様の生活に大きな影響が生じたものと考えております。 ご指摘のとおり、大雪による長時間の渋滞はアイドリグの増加を招き、CO₂排出量を大幅に増加させます。2020年12月の関越自動車道での大雪渋滞では、約140トンのCO₂が排出されたと推定されております。また、日本全体では渋滞が温室効果ガス排出量の約1.3%（年間1,300万トン）を占めているとされ、渋滞対策は脱炭素に向けても重要な課題です。 気候変動の影響で極端な降雪リスクが高まっていることも指摘されていることからこの大雪にどう向き合うかは気候変動適応の領域でも考えていく必要があると認識しております。 この課題への対応としては、市役所においては環境部署のみならず、都市計画や防災、道路などの庁内の幅広いセクションとの連携が不可欠と考えており、この度いただきました新たな視点は庁内に共有させていただき、脱炭素や気候変動適応の面からも対応を検討してまいります。 今後ともゼロカーボンシティ会津若松の実現に向け、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

No.	ご意見提出者	ご意見（原文）	事務局の今後の対応
3	パートナー 市民	ゼロカーボンシティ会津若松推進の活動で、活動状況の推移が分かる数値データやグラフ化を示してください。それを以って、活動の善し悪しを判断して、活動内容の修正やリスクマネージメントに活かせればよいかと思います。 また、LED照明への切り替えなど、特に高齢者へに働きかけは、より身近に対応する、訪問するなど、受け身ではなくアプローチ型活動の推進をお願いしたい。 。風力発電の建設反対の記事をよく見ますが、利害関係も見え隠れしていそうなので、賛成派の意見も取り上げて紹介ください。 今回の大雪に見られるように、見通しの甘さ、リスク管理のまずさは、活動の根本に考慮してほしい。 追記になります。活動吸いしのキーワードに、「PDCA プラン→ドゥー→チェック→アクション の繰り返し」、環境影響評価、環境ISO マネジメントシステムの採用をご検討ください。民間企業ではごく当然のように活用されていますので。	この度は、貴重なご意見をいただき、厚く御礼申し上げます。 ご指摘のとおり、脱炭素に向けた取組状況を正確に把握し、市民の皆様に分かりやすくお伝えするためには、客観的な数値データやグラフによる視覚的な情報提供が重要であると認識しております。 現在、本市では温室効果ガス排出量の状況や電気自動車の導入率などの項目については、毎年度把握し、公式ホームページ（https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2025013000043/）などで公開し、進捗状況をお知らせしています。 一方で、各家庭のLED照明への切替率などのデータは現時点で収集できておりません。これらの詳細なデータを把握するためには、現状では市民の皆様へのアンケート調査等により情報収集する必要があり、回答者と集計者の双方に大きな負担があることが課題となっております。この点につきましては、本市が進めているスマートシティの取り組みを通じて、脱炭素につながる市民の行動促進と関連データの収集ができるよう制度検討を進めております。これが実現すれば、収集したデータをネットワーク上で共有・分析し、活動状況をより明確に示すことが可能となり、市民の皆様に一層わかりやすく進捗をご報告できるものと考えております。 また、このようなデータによる可視化を行うことで、脱炭素が進んでいない方の属性や要因についても分析が進むと考えられ、より効率的・効果的にアプローチすることが可能になると考えております。 また、再生可能エネルギーについては、今回の総会のように、地域課題の解決に資するような事例をご紹介してまいります。 なお、本市において庁内外の脱炭素の取組は環境基本計画に位置付けられており、PDCAに基づく進捗管理を行っておりますが、そのことが伝わりやすいよう、お示しする資料の構成等は工夫してまいります。 今後ともゼロカーボンシティ会津若松の実現に向け、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

No.	ご意見提出者	ご意見（原文）	事務局の今後の対応
4	オブザーバー	<両市との連携について> 会津若松市の計画は、業務・商業・住宅エリアを対象とし、民生部門の脱炭素化には、世帯や施設など民生部門の多くの関係者を巻き込む必要があり、チャレンジ的な取組と認識。 難易度は高いが、国からの期待も大きい。両市で取り組んできた地域間連携モデルでもあり、地方創生にも繋がる観点も評価を得ている。横浜市としても、引き続き、積極的に連携をしていきたい。 <会津エネルギーアライアンスについて> 電気の世界は、民間事業者との連携の枠組みが不可欠。 その点スマートシティで構築した枠組みとその取組による素地があるが、発電・小売・エネマネ等多様なプレイヤーが集まった会津エネルギーアライアンスが着実に機能していくことが鍵。 まずは、率先行動としての公共施設の地産地消を全国的にも前例のないやり方で成し遂げられた。 取組を民生部門に広げていくには、会津エネルギーアライアンスのこれまで以上の関わりが必要。 市内には大型の発電所のほか、蓄電所も建設されると聞いている。 地産の再エネを有効に活用する取組は、再エネまわりの制度改革にもあわせた取組となる。 企業の枠を超えた積極的な関わりにより全国に先駆けたモデルを実現させて欲しい。 その暁には、各プレイヤーも評価される取組である。	この度は、貴重なご意見をいただき、厚く御礼申し上げます。 本市の取り組みにおきましては、貴市の豊富な知見を大いに活用させていただいております。また、貴市との人的交流も一層深まり、それに伴い本市にも好影響を及ぼしつつあります。脱炭素先行地域である両市が一体となり、脱炭素化と地域経済循環圏の推進に向け、共同で取り組み、その成果を広く発信してまいりたいと存じます。両市の緊密な連携は、脱炭素社会の実現と地域経済の活性化に不可欠であると認識しており、今後とも貴市との協力関係を一層強固なものとしてまいりたいと考えております。 公共施設の再エネ調達については、おそらく全国初の事例ではないかと考えており、すでいくつかの自治体からはヒアリング等をいただいております。このスキーム構築までは非常に苦労しましたが、本市の取り組みを全国に発信し、他の自治体においても再エネ調達が進めば、と考えております。 市内全域におけるアライアンスの取組を広げるためには発電事業者・小売電気事業者・アグリゲーターとの連携が非常に重要ですので、会津エネルギーアライアンスの枠組により、密に連携をとり、推進してまいります。 現状では、市の公共施設がその第一号の取り組みとなりましたが、市民や事業者が当たり前のように、再エネの地産地消に取り組むように、取り組んでまいります。 今後ともゼロカーボンシティ会津若松の実現に向け、貴市のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
5	幹事団体	下記の総会（書面開催）に関しまして、資料拝見いたしました。関係者各位のご尽力により順調に活動が進められているように思った次第です。	この度は、貴重なご意見をいただき、厚く御礼申し上げます。 当ネットワークでは、ゼロカーボンシティ会津若松の実現に向け、市内の関係者が相互に連携し、意見交換や情報共有を通じて理解促進を図り、全市一丸となって脱炭素への取り組みを進めていることから、このようなご意見をいただけることは、大変ありがたく存じます。 今後もネットワークにおける連携により環境・経済・社会の面で持続可能な地域社会が形成されるよう、皆様と連携して取り組んでまいります。 今後ともゼロカーボンシティ会津若松の実現に向け、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。